



立川ひろとしからの手紙



立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2022.10.23 発行 No.2-17 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 <https://tachikawa-hirotoshi.com> h_tachikawa@tacho-net.com



新型コロナウイルス感染症からの復興を臨む

日頃より、皆様には立川ひろとしの活動にご理解・ご支援を頂きまして有難うございます。

本年夏から心配されていた新型コロナウイルス感染症 第7派も落ち着きを見せ、少しずつ人の動きが出てきたかと思えます。

今回の第7派については、注意喚起がされたものの、行動制限が無かったことや、全数把握の考え方を見直し、医療機関や保健所 職員さんの負担軽減を行うなど、これまでの対応とは変わってきたことが特徴的でした。また、従来型＋オミクロン対応といった2価ワクチンの接種が開始されたことも、新しい動きとなっているかと思えます。

9月議会では、令和3年度の決算審査を行うと共に、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた方々へ、国から降りてきたお金を基に支援する予算も決定されました。10月に入り、臨時国会が開会となり、新型コロナウイルス感染症や、国際紛争、円安により疲弊した国内経済への対策が議論され、1日も早く、新型コロナウイルス感染症からの復興が果たされることを切に望みながら、今回も本誌を書かせて頂きました。



ホームページ・SNSなどのリンク集をつくりました！

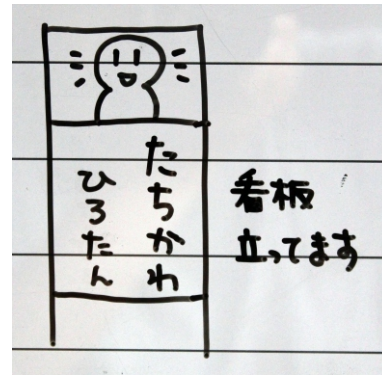
日々、インターネット上のホームページや各種SNSでも活動報告を行っておりますが、一連のページをリンク集としてまとめたものを作成しました。

皆さんおもちの携帯電話やスマートフォンで、本誌 表ページ左上のQRコードを読み込んで頂けると、リンク集のページを表示することができます。

是非、ご覧頂けましたら幸いです。宜しくお願いします。



こんなところから看板設置への御協力のお願い



市内で数カ所、私の看板を設置させて頂いており見かける機会がありましたら幸いです。こういった後援会 及び 後援会連絡所の看板は選挙区内（市内）に12カ所まで設置することができ、看板設置個所の増設に努めております。

看板設置場所の御協力を頂ける方がおられましたらどうぞよろしくお願いいたします。



様々な課題にしっかり提言！立川ひろとしの一般質問ダイジェスト！

1. 地域への防犯カメラ設置について

最近、世間でも不思議な犯罪や子供たちの連れ去り事件、大きな交差点での事故などが多いことから、主要な交差点、人の集まりやすい施設、街区公園への防犯カメラ設置、地域への防犯カメラ設置が推進できないか質問しました。



【部長答弁】

- 防犯カメラを補助要件とした「茨城県警察街頭防犯カメラ設置費補助事業」を活用し、交通量の多い幹線道路に増設を図っていく
- 学校敷地内には小学校9校に12台、中学校3校に6台、市教育委員会がカメラを設置しており、今後は通学路への設置を計画し、登下校時における児童、生徒の安全の確保に努めていきたい
- 地域への展開については、現在、街区公園等への防犯カメラ設置計画は無いが、地域における防犯カメラ設置推進のため、令和4年度から個人や自治会等を補助対象とした「結城市防犯カメラ設置事業補助金」を創設し運用している

【市長答弁】

- 防犯カメラの設置は犯罪捜査に有効であり、犯罪の発生の抑止に繋がる点から、継続的に増設を進めてたいと考えている
- 特に、公約である児童、生徒の安全確保のために、通学路等へ防犯カメラの設置を重点事項として、結城警察署や関係機関と連携を図り進めていきたい
- 新たに創設した自治会や個人への「防犯カメラ設置補助制度」を活用して頂き、地域防犯対策の強化が図れるものと考えており、しっかりと安全安心を確保していきたいと考えている

【立川のコメント】

地域の防犯対策のため、万が一 事件が起きてしまったときに迅速に解決するための情報源として活用できる観点からも、防犯カメラ設置をしっかりと進めて頂きたい。街路灯などの設置と同様な感覚で進んでいくよう願っております。

2. 部活動の地域移行について

教職員の働き方改革の一環で議論されている部活動の地域移行について、その位置づけ、学校と地域の関わり方、指導者の確保など様々な課題をどのようにとらえ、実現して行くのか質問しました。



【部長答弁】

- 受け皿となる団体や指導者の確保、生徒の技術指導に相応しい人材の確保や掘り起こしも重要
- 指導者の立場や責任範囲をどう定めるかも課題
- 生徒の指導を有償で行う場合は、保護者の経済的負担の増大が懸念される
- 活動中にケガをした場合の最終的な責任の所在も定める必要がある
- 活動場所の確保も課題となり、学校、公共施設、民間施設のいずれかが考えられるが、学校以外で活動する場合は施設使用料が想定され、公共施設では、休日における優先的使用の可否も課題
- 今後、民間の関係団体等と連携を図りながら課題解消に努め、中学校における休日の部活動の地域移行を進めていきたい

【教育長答弁】

- 生徒数が減少する中、地域と保護者、学校が一体となった運営体制での部活動の地域移行が課題
- 今後は、教員の負担や一部の保護者の協力の上に成り立っていた部活動から、生徒一人一人がそれぞれのニーズに応じて、自主的、自発的に取り組むことができる持続可能な新しい部活動の在り方を検討していきたいと考えている

【立川のコメント】

部活動の地域移行は、教職員の働き方改革に加え、単一学校では実現できない様々な種類のスポーツ、文化活動を実現し、子供たちに活動の場を提供することもあると考えている。保護者の負担軽減や指導者確保など、課題解決に向けて取り組んで頂きたい。

3. デジタル教科書について

ギガスクール構想の一環で、生徒さん1人1人にタブレット端末が配布され活用される中、2024年度より導入されるデジタル教科書のメリットやデメリット、導入に向けた取り組みについて現状を質問しました。



【部長答弁】

- 効果については、デジタル教科書に搭載された動画や音声等を利用することで自分のペースで学習することが容易となる
- デジタル教科書の多様な機能を利用することで、障がいのある児童生徒、外国人児童生徒等の個々に応じた指導が可能となる
- 課題については、視力低下やネット依存などの児童生徒の心身における健康面への影響が懸念されるので、学校では、正しい姿勢での使用や適宜休憩を挟むなどの指導を行い、家庭でも保護者に協力を依頼している
- 通信機器のトラブルも懸念されるので、教員のICT活用能力を含めた指導力向上のための研修機会を確保することも必要

【教育長答弁】

- 個別最適な学び、協働的な学びを通した主体的、対話的で深い学びを実現するために、必要不可欠なものと感じている一方で、これまでの学習でなければ体験、経験できない学習もある
- 今後は、従来の学習にデジタル教科書等のよさを取り入れ、ベストミックスさせながら、個別最適な学びを充実させていきたい

【立川のコメント】

デジタル教科書の導入により、教材の活用方法、授業の進め方などが変化して行くなど、教職員、子供たち双方にとって大きな変革と考えている。よりよい学習方法や指導方法を模索しながら、新しい技術を大いに活用して頂きたいと考えている。



■ 令和4年度 一般会計・特別会計・企業会計の補正予算を可決（その1）

① 一般会計・特別会計（6本）・企業会計（2本）の合計で
4億 6772万 6000円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

- ・行政改革推進経費（庁用備品） 472.5 万円
- ・公共施設庁寿命化等推進基金積立 2,720.2 万円
- ・古民家・空店舗等再生活用事業補助金 400.0 万円
- ・外観修景事業補助金 200.0 万円
- ・パソコン等システム用機器 533.6 万円
- ・税外収入過年度精算還付金 2億 3,933.1 万円
- ・戸籍事務電算委託費 1,387.1 万円
- ・国民健康保険特別会計 繰出金 ▲ 710.0 万円
- ・介護保険特別会計 繰出金 ▲ 271.2 万円
- ・緊急通報システム事業委託料 225.1 万円
- ・ひとり暮らし高齢者等緊急通報装置 ▲ 348.2 万円
- ・後期高齢者医療特別会計 繰出金 ▲ 257.6 万円
- ・民間保育所補助事業 266.4 万円
（検査キット・民間保育所等乳児等保育事業補助）
- ・子宮頸がんワクチン接種費 100.8 万円
- ・新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援物資配送委託料 50.4 万円
- ・光熱水費（健康増進センター） 155.5 万円
- ・農地利用効率化等支援事業補助金 160.1 万円
- ・新規就農者育成総合対策事業補助金 112.5 万円
- ・儲かる産地支援事業補助金（園芸振興事業） 57.4 万円
- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 43.4 万円
- ・舗装補修工事 2,000.0 万円
- ・結城南部第二土地区画整理事業特別会計 繰出金 36.7 万円
- ・結城南部第三土地区画整理事業特別会計 繰出金 104.6 万円
- ・公営企業負担金（公共下水道事業会計へ） 1,974.0 万円
- ・市営住宅医事改修事業（工事請負費） 162.0 万円
- ・消防団員退職報奨金 109.7 万円
- ・避難施設・備蓄体制整備事業（備蓄用倉庫） 2,422.5 万円
- ・自主防災組織育成事業補助金 140.0 万円
- ・光熱水費（小学校） 1,606.6 万円
- ・光熱水費（中学校） 959.8 万円
- ・スポーツ大会開催事業費（消耗品・イベント用備品） 277.4 万円
- ・学校給食センター運営管理経費 166.5 万円

- ・【介護保険】 過年度精算還付経費 3,071.9 万円
- ・【農業集落排水事業】 光熱水費 219.2 万円
- ・【水道事業】 電気料金 3,360.0 万円
- ・【公共下水道事業】 動力費（電気料金） 2,114.7 万円

■ 消防ポンプ自動車購入の契約に同意

- ・消防ポンプ車 1台 の購入契約に同意
- ・2,090万円（うち 消費税 190万円）
- ・現行の普通自動車運転免許に対応した 総重量 3.5 t 未満の仕様

■ 令和3年度 一般会計・特別会計・水道事業会計の決算認定と財務諸表

① 各会計の総額は以下の通り

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	歳入－歳出
一般会計		209億 8,574万 8,137円	192億 9,038万 3,786円	16億 9,536万 4,351円
特別会計	国民健康保険	52億 8,884万 5,675円	50億 7,104万 6,887円	2億 1,779万 8,788円
	後期高齢者医療保険	6億 6,237万 3,329円	6億 6,057万 5,029円	179万 8,300円
	介護保険	介護保険事業勘定	35億 6,899万 502円	9,454万 1,593円
		介護サービス事業勘定	156万 5,841円	0円
	南部第二土地区画整理事業	1億 2,457万 9,893円	1億 590万 2,627円	1,867万 7,266円
	南部第三土地区画整理事業	5,770万 8,476円	5,720万 8,476円	50万 円
	農業集落排水事業	1億 3,353万 5,393円	1億 3,353万 4,393円	1,000円
水道事業	住宅資金等貸付事業	579万 8,552円	579万 8,552円	0円
	収益的収支	14億 5,059万 6,944円	11億 9,186万 505円	2億 5,873万 6,439円
公共下水道事業	資本的収支	1億 1,613万 2,742円	5億 4,444万 5,788円	▲ 4億 2,831万 3,046円
	収益的収支	13億 27万 5,374円	12億 8,297万 229円	1,730万 5,145円
公共下水道事業	資本的収支	5億 757万 3,484円	8億 8,958万 6,547円	▲ 3億 8,201万 3,063円

- ※ 令和3年度 結城市決算資料を基に作成
- ※ 水道事業 及び 公共下水道事業の資本的収支の収支不足分は各々の会計の内部留保資金より充当
- ※ 収益的収支 … 1事業年度における企業の経営活動に伴い発生するすべての収益と費用
- ※ 資本的収支 … 建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや、企業債 元金償還などの費用とその財源となる収入

② 各財務諸表 … 国の基準を超えると再建計画策定などの制約が課せられるが、結城市は基準をクリアしている

	国の基準（％）		結城市の状況（％）	
	経営健全化基準	財政再建基準	令和3年度	令和2年度
実質赤字比率	13.23 ※1	20.00	- 【 -14.13 】 ※2	- 【 - 9.46 】 ※2
連結実質赤字比率	18.23 ※1	30.00	- 【 -31.50 】 ※2	- 【 -29.56 】 ※2
実質公債費比率	25.00	30.00	6.9	7.2
将来負担比率	350.00	-	39.9	54.6

- ※1 実質赤字比率・連結実質赤字比率の経営健全化基準は一律でなく市町村の標準財政規模により変動
- ※2 赤字ではないので算出されないことから【】部分に黒字比率をマイナス値で表記

■ 令和4年度 一般会計 補正予算を可決（その2）

① 一般会計 1億 5500万円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

- ・子育て世帯生活応援特別給付金支給事業 ひとり親以外の世帯分 2,695.0 万円
ひとり親世帯分 2,911.1 万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 9,120.9 万円
- ・プレミアム付商品券事業（追加発行） 1,450.0 万円
- ・運送業者等緊急支援事業（事業終了による減額） ▲ 998.8 万円
- ・学校給食センター運営管理経費（給食用備品 購入） 321.8 万円



何者かよくわからないと言われなくなるまで自己紹介

- ・昭和48年（1973年）5月3日 結城市生まれ 49歳 丑年 おうし座 独身 嫁 ゆるく募集中
- ・城南保育所 ⇒ 城南小学校 ⇒ 城西小学校
⇒ 結城中学校 ⇒ 下館第一高等学校 普通科
⇒ 日本大学工学部 電気工学科を卒業
⇒ 民間企業でシステムエンジニアとして従事
- ・平成15年 結城市議会議員選挙にて当選
⇒ 以来 3期 12年 市議として活動
- ・平成27年8月 結城市長選挙に立候補するも力及ばず敗戦
- ・敗戦後、政治的活動から引退し、全ての公職から退き、民間人として余生を送ろうとしたが、後援会や地元から要請を頂き、平成31年 結城市議会議員選挙にて議員復帰
- ・市議会議員 現在 通算 4期目
- ・結城市議会 産業建設委員会（委員長） 議会情報推進委員会（議会広報誌編集）
結城市国民健康保険の運営に関する協議会 所属（会長 職務代理者）
- ・筑西広域市町村圏 事務組合議員＆代表監査委員（令和3年7月～）
- ・結城市消防団 第5分団 団員（平成17年7月～ 現在）
- ・結城ペタンク協会 会長（令和元年7月～ 現在） ← ぜひ一緒にやりましょう！
- ・所属会社からの理解を頂き、会社員を継続しながら市議会議員として活動中



仲間の新しい出発をあたたく見守る編集後記

今回も無事にお届けができたことに安堵しております。

今期もこれまで欠かさず活動報告（本誌）を出してまいりましたが、議会が終わるたびに、B3・表裏の紙面をどのように埋めていこうか、毎回、途方にくれながらの発行です。

その一方で、実際に文章を紙面に収めて行くなか、今度はあれも書きたい、これも書きたいとの欲が出てきて、終わってみると、載せたいことが載せられなかったことが数多くありました。

毎回、色々な思いの中での紙面づくりをしておりますが、残りの任期をしっかりと活動し、これからも、皆さんに本誌をお届けできる立場として活動していきたいという思いであります。

また、今期 約3年半、市議会議員として一緒に活動してきた 秋元 勇人 さんが令和4年9月30日 をもちまして市議会議員を辞職されました。

市民の代表として、日々、志高く活動されてこられた秋元さんに敬意を表し、一緒に議員活動に勤しんだ仲間として、これからも様々な方面で活躍されますよう心から願っております。

